

経営 さぶりメント

各方面の専門家による
ビジネスに役立つエッセンス



本質を 考えてみよう

vol.1



● 本質を考えてみれば、広がりが見えてくる ……………

私は課題に直面すると、その物事の本質は何なのだろうと考えるようにしています。本質が見えてくると、それが正解とはいかないまでも、何かヒントのようなものを感じる時があります。考えに広がりを持つことが出来るようになってきます。

みなさんは、いかがでしょうか？ 例えば、なかなか仕事が出ない。仕事が出来ないAさんがいて、

- なぜ仕事が出来ないのか？
- 何が出来るのか？
- 何が秀でてすごいのか？
- どうしてそうなることが出来たのか？
- この先いつまでかどうなるのか？
- なぜ、そう思うのか？

小さな子どもみたいですね。なぜなぜづくしです。

辞典などを読むと、「本質」とは、物事の「本来の性質や姿」である。それ無しにはその物が「存在し得ない性質・要素」(中心核)である。」といった説明がされています。つまり、「本来」的で、存在に欠かせない性質・要素・姿だそうです。

もう少し具体的に考えてみましょう。例えば普段何気なく使っている「椅子」の本質って何だろう？ 仮に椅子の本質は、【床から離れて、お尻を下ろす場所】だと考えたら、いろいろな椅子が考えられますよね。例えば空気が下から吹き出してお尻を支えてくれる椅子とか。もちろん道ばたの大きな石も椅子に早変わり。こんな風にアイデアが広がっていきます。新しい椅子が出来るかもしれませんね。椅子の形姿である足とか、木の素材とかは、たまたま付帯している付随的要素です。それ故に、さまざまな形とか素材の椅子が存在しているのです。これでなければ「椅子ではない」というものは無いですね。

● 同じ様に、商売について考えてみると… ……………

こんどは、同じ様に商売に置き換えて考えてみます。自分は何屋さんだろう？

例えば、布団屋さんで売っている布団。この「布団」の本質ってなんだろう？ 仮に布団の本質は、【寝る時に、体温が下がらないように保温するもの】だとしたら、布団屋さんはある種私たちの生命維持に関わる大切なものを取り扱っているのです。人は一生のうち1/3もの時間、寝て過ごしていますから、布団さんは安眠を確保してあげる物を販売してもおかしくないですね。このように事業領域が広がります。

● デザインができること ……………

では、デザインの本質とはなんでしょう？ 自問自答になってしまいますが、例えば【無駄の無い綺麗に見せることがデザイン】なのでしょう？

デザインという言葉の語源は、デッサン(dessin)と同じく、「計画を記号に表す」という意味のラテン語 designareと言われています。つまりデザインとは、「何かをするために思考・概念の組み立てを行い、それを様々な媒体によってわかりやすく表現すること」、つまり、【ある目的のために計画(意図)して、わかりやすく表現をする】となります。

仮にこのことがデザインの本質であれば、複雑に干渉し合うシステムやビジネスにもデザインの力が役立つと思います。



● 「わかりやすくする」ということは、

対象がいるということ ……………

「わかりやすくする」ということは、わかってもらいたい対象となる人がいるということです。つまり制作者の好みや、クライアントの好みに合わせた物を作っても、できたものが「伝えるべき相手に伝わらない」「使うべき人が使にくい」物になってしまえば、目的が実現されてい

いことになりかねません。これではせっかくデザインしたものの、意味が無いものになってしまいます。

デザインという行為は、時として「問題を解決する」とか「より良いもの」にするための手段として活用されることが多いと思います。いずれにしても、「誰が、誰のために、どんな目的を持って、どのような(良い)状態にするのか」という【他人目線】が必要になります。

今回は、ちょっと概念的で難しくなりました。最後にアップルコンピュータを立ち上げたスティーブ・ジョブスが、判り易くこう言っています。

Design is not just what it looks like and feels like.

Design is how it works.

「デザインとは、単にどのように見えるか、どのように感じるかということではない。どう機能するかだ。」

では次回は、もう少しデザインという実務を掘り下げてみたいと思います。②



株式会社アルテ

代表取締役

時田 和幸

ときた かずゆき

【略歴】

昭和40年 秋田市生まれ
秋田大学卒業後、株式会社五洋電子にて移動体端末や半導体製造装置の設計を担当。在職中に、秋田公立美術工芸短期大学(現秋田公立美術大学)に入学、産業デザイン学科1期卒業。秋田情報ビジネス専門学校にて情報デザインの教員を経て、平成15年デザイン会社 株式会社アルテの代表取締役に就任。
平成20年からはNPO法人ほっとアートあきたを立上げ、まちなぎわいづくりや人材教育に取組んでいる。
秋田市工芸振興協議会 会長